

# インターハイ北海道予選会 組合せ基準・シード規定

北海道高体連バドミントン専門部

## 【1】 組合せ抽選について

- ①毎年度シード委員会を設置し、シード委員は高体連組合せ会議参加者とする。
- ②シード委員長は北海道高体連専門部委員長とし、毎年組合せ会議前にシード委員会を開催する。
- ③団体戦・個人戦共にシード委員会の決定事項が優先される。

## 【2】 シードの決定について

### 〔1〕 学校対抗団体戦

- ◆前年度選抜大会を資料とし、北北海道・南北海道各2宛シードを原則とする。

条 件：前年度選抜大会南北各ベスト2

※当該校が出場権を取得できなかった場合は、当該支部の最上位校（1位・2位）をシードする。

### 〔2〕 個人対抗ダブルス・シングルス

- ◆前年度選抜大会・当該年度国スポ道予選会を資料とし、北北海道・南北海道各3～4宛シードを原則とする。
- ◆次の「優先事項」と「第1～4条件」にもとづいて、シード対象選手を確定する。

#### 優先事項

- ・支部別順位よりもシード委員会決定事項が優先される。
- ・第1～第4シードの選手については、1／2山に同一校の選手が偏る場合及びダブルスのパートナー同士が偏る場合であっても、入れ替えはしない。  
(第4シードまでは固定)

第1条件：当該年度国スポ道予選会ベスト4  
第2条件：前年度選抜大会南北各ベスト2  
第3条件：当該年度国スポ道予選会ベスト8  
第4条件：前年度選抜大会南北各ベスト4

(R2～適用)

※ダブルスにおいてパートナー替えの場合、どちらかが入賞していれば考慮することもある。

## 【3】 個人対抗ダブルス・シングルスの組合せ

- ①上記【2】〔2〕の事項にもとづき確定したシード対象選手を入れる。(第4シードまでは固定)
- ②各支部1位と2位を1／2山に分ける。(シード選手がいる支部は、1／2山に偏る場合がある。)
- ③シングルスではダブルスのパートナーを1／2山に分ける。  
(シード選手がいる場合は、1／2山に偏る場合がある。)
- ④支部バランス・学校バランスに配慮する。
- ⑤単複同一選手との対戦は避ける。(同一校および同一支部対戦は、あり得る。)

平成21年4月28日 一部改正

平成24年6月12日 一部改正

令和元年12月20日 一部改正

◎令和6年12月20日 一部改正